

新しい医療証は「うすいみどり色」です。対象の方には9月17日(金)にお送りします。9月30日(木)までに届かない場合はご連絡ください。

【対象】義務教育終了前(15歳に達する日以後の最初の3月31日)まで。就学前のお子さんは「乳幼児医療証」、小・中学生は「子ども医療証」です。

【有効期間】10月1日(金)～23年9月30日(金)または15歳(乳幼児医療証は6

歳)に達する日以後の最初の3月31日まで

【助成内容】健康保険適用後の「医療費の自己負担分」と「食事療養標準負担額」※入院時の食事療養費等を自己負担した場合は、受診月を含め12か月以内に、領収書を添えて区に申請してください。

【問合せ】子どもサービス課子ども医療・手当係(本庁舎2階 ☎(5273)4546へ。新宿区ホームページでもご案内しています。

子育て支援者のためのスキルアップ講座

●いろいろな力を引き出す
子育て支援に携わる方が活動の中で感じている課題などを、皆さんで考える参加型の講座です。地域で活動している方も専門職の方も、ぜひご参加ください。全回受講した方には修了証をお渡しします。

【日時・内容】下表のとおり。いずれも午前10時～午後0時30分、全5回

【費用】無料(託児は子ども1人1回1,000円)

【会場・申込み】所定の申込書をお送りファックスでゆったりのの(〒162-0853北山伏町

日 程	テーマ・講師	内 容
9月30日(木)	自己紹介と互いの課題を知る(小原聖子・ゆったりの)	ワークショップでさまざまな角度から互いの活動を知り、課題を共有
10月7日(木)	子どもの力を引き出す(入江雅子・ゆったりの、中村桃子・あそびのまち社)	子どもに接する大人の役割を考える
10月14日(木)	相手の力を引き出す(小原聖子、永田麻千子・世田谷アドシュガー代表、古味利絵子・新宿maagle代表)	子育てサークル等の主催者を囲んだ仲間作り・後方支援を考える
10月21日(木)	自分の力を引き出す(入江雅子、嵯峨創平・環境文化のための対話研究所)	自分の創造性と個性を阻害するものを考える
10月28日(木)	資源を引き出す(松田妙子・せたがや子育てネット、小原聖子)	身の回りの資源を活動や支援にどう活かすか考える

【費用】無料

【会場・申込み】往復はがきに記載例(2面参照)のほか(1)は年齢・希望日・希望時間を記入し、9月25日(必着)までに中

【問合せ】子育て支援課(3222)5121へ。作品も募集しています。詳しくは、お問い合わせください。

【日時】10月14日(木)午前9時45分～11時45分

【会場】若松地域センター(若松町12-16)

【内容】講演「人付き合いがきつと案になる」～コミュニケーションタイプ分析(須見庸子・働スキルポッド代表取締役)

【主催】東戸山小・余丁町小合同家庭教育学級運営委員会

【申込み】往復はがきかファックス(記載例(2面参照))の

【日時】9月26日(木)午前10時から(9時30分開場)

【内容】歌や踊りのステージ

【費用】無料

子育て支援者のためのスキルアップ講座

【会場・申込み】当日直接牛込区民ホール(笹笹町15)へ。車いす席もありません。

【問合せ】牛込笹笹地域センター ☎(3260)3677へ。

【日時】9月27日(木)午後7時～9時

【会場】神楽坂通り商店会事務所(神楽坂3-2、東新神楽坂エミネス6階)

【内容】定期借地権、借家権の普及と同制度を活用したまちづくりを支援する、NPO法人首都圏定期借地借家権推進機構の活動を紹介

【費用】千円(資料代ほか)

【申込み】電話で北新宿図書館(3365)4755へ。先着20名。

【日時】10月21日(木)～11月18日(日)、いずれも午前9時30分～10時30分・午後11時～12時・午後2時30分～3時30分の4回開催

【対象】区内在住の50代以上でパソコン初心者の方

【内容】キーボード操作、インターネットの使い方と検索方法、データーベースの利用ほか(2)和とじ本を作るう

【日時】10月21日(木)午前10時～12時

……………(以下共通)……………

【費用】無料

【会場・申込み】往復はがきに記載例(2面参照)のほか(1)は年齢・希望日・希望時間を記入し、9月25日(必着)までに中

【日時】10月3日(日)午前10時から。2日(土)午後5時から前後祭ライブ(ハワイアン・ロック・ポップスほか)を開催

【内容】地域センター登録団体の展示・発表。長野県伊那市・千葉県流山市の産直品販売、緑日屋台・軽食コーナー、健康スタンプラリーほか

【費用】入場無料(一部の催しは有料)

【会場・申込み】当日直接、若松地域センター(若松町12-16) ☎(3209)6030へ。

【日時】10月21日(木)～11月18日(日)、いずれも午前9時30分～10時30分・午後11時～12時・午後2時30分～3時30分の4回開催

【対象】区内在住の50代以上でパソコン初心者の方

【内容】キーボード操作、インターネットの使い方と検索方法、データーベースの利用ほか(2)和とじ本を作るう

【日時】10月21日(木)午前10時～12時

……………(以下共通)……………

【費用】無料

【会場・申込み】往復はがきに記載例(2面参照)のほか(1)は年齢・希望日・希望時間を記入し、9月25日(必着)までに中

9月20日～26日は動物愛護週間

人も動物も住みやすいまちを目指して

地域ねこ対策

飼い主のいない猫との共生を目指しています

毎年、約20万頭の猫が全国の自治体に収容され、その多くが殺処分されています。飼い主のいない猫の排せつ物による苦情も多く、地域での対策がますます必要になっています。

◎地域ねこ対策とは

区では、増え続ける野良猫への苦情・相談に対応するために、平成13年度から「人と猫の調和のとれたまちづくり事業」を進め、地域住民・町会・ボランティア団体等の皆さんと保健所の協働で、野良猫の増加を防ぐとともに、猫による被害の防止に取り組んでいます。現在9か所の特別出張所管内で取り組みが行われています。20年2月には各地域の活動をつなぐ「人と猫との調和のとれたまちづくり連絡協議会」が発足し、野良猫問題を地域で解決する仕組みづくりを進めています。

◎地域ねこ対策の流れ

①打ち合わせ会の実施

町会役員・地域住民の皆さん・猫で困っている方等と保健所の職員が情報を交換し、問題解決のための方法を確認します。

地域ねこパネル展を開催

「人と猫との調和のとれたまちづくり連絡協議会」のメンバーと保健所職員が、地域ねこ対策を説明します。当日直接、会場へおいでください。

【日時】9月19日(日)午後1時30分～4時(雨天中止)

【会場】区役所本庁舎正面玄関前

被災時の動物救護活動

◎しつけによる備え

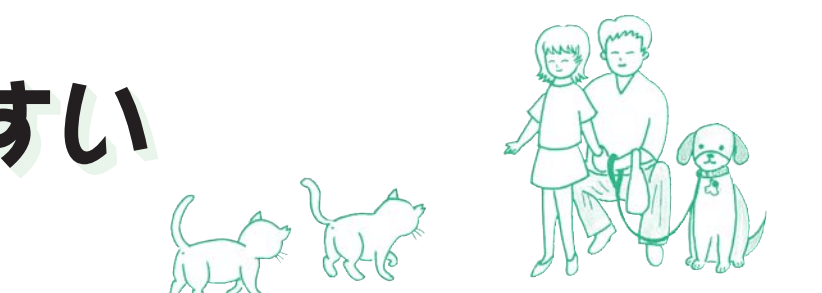
災害時は、ペットとともに避難所へ行くこともあります。日ごろから、トイレの訓練、無駄吠えをしない、ケージの中で生活する、「待て」「座れ」など指示に従うなどの基本的なしつけをしてください。

◎避難時に持ち出すもの

ペットの3日分の食料・水・薬等が必要です。また、ケージ・ペットシートなどもすぐ持ち出せるように用意してください。

◎避難所での動物救護体制

災害時には人もペットも避難所に集まるため、区が各避難所に配布している「学校避難所用動物救護マニュアル」を基に、地域の皆



ペットの適正な管理を

住宅密集地における犬猫の適正飼養ガイドライン

今年2月に環境省が策定したガイドラインは、増加するペットが引き起こす住宅密集地における近隣トラブルを解説しています。トラブルの多くは、ペットの飼い方を改善することで防ぐことができます。今回は、ガイドラインの一部を紹介します。

これからペットを飼う方へ

- ▶あなたの住まいでペットを飼えますか
多くの集合住宅はペットを飼育できません。飼える環境でも、転居や転勤の可能性がある場合は慎重な判断が必要です。
- ▶飼いたいペットはあなたのライフスタイルに合っていますか
必要な世話は種類によって大きく異なります。
- ▶あなたの家族はペットを飼うことに賛成していますか
ペットを飼うときは、家族全員の同意を得てからにしましょう。
- ▶動物に対するアレルギーを持っている家族はいませんか
動物の毛・ふけ・排せつ物にアレルギー反応を起こす方もいます。飼う前に医師に相談するなど、慎重に判断してください。
- ▶毎日欠かさず世話ができますか
餌を与えたり、排せつ物を始末するほか、しつけなどもあります。最後まで世話をするつもりがないなら飼うことはやめましょう。
- ▶あなたの体力で世話ができますか
ペットや自分が老いたときの世話も考えて、種類や大きさを選んでください。
- ▶近隣に迷惑を掛けないように配慮できますか
排せつ物の始末、防音対策、必要なしつけ等を実行しましょう。
- ▶犬や猫の一生に掛かる費用を考えてみましたか
購入費用だけでなく、食費・衛生費・治療代なども考えましょう。
- ▶生涯の計画を立ててみましたか
10年以上生きる犬や猫も多くなっています。予測できる将来の生活の変化に対応できるか良く考えましょう。
- ▶万一、飼えなくなったときのことを考えていますか
飼い主の突然の病気やけがなどで飼えなくなったときに、代わりに飼ってくれる人を見つけておきましょう。
- ▶どこで購入するか考えましょう
東京都動物愛護相談センターや動物保護ボランティアの活用も考えましょう。

ペットなんでも相談のご利用を

ペットなんでも相談協力動物病院 (東京都獣医師会新宿支部加盟動物病院)

病院名・所在地	電話番号	病院名・所在地	電話番号
木村動物病院 (馬場下町50)	(3203) 0011	林田動物病院 (上落合2-27-10)	(3362) 8650
市ヶ谷動物病院 (市谷柳町25、宮坂ビル1階)	(3269) 1299	ヨシザワ動物病院 (西落合4-17-12)	(3951) 5780
新宿動物病院 (新宿7-11-5、けやきハウス2階)	(5272) 1323	小滝橋動物病院 (百人町4-9-2、第2浅美ビル)	(5332) 6866
エンドー動物病院 (北新宿3-9-3)	(3371) 7182	牛込犬猫病院 (南山伏町2-15)	(3268) 8059
アーバン動物病院 (大久保2-3-16、サニー大久保102)	(3204) 1323	相川動物医療センター (西落合4-3-1)	(5988) 7888
辻記念動物病院 (高田馬場1-20-2)	(3200) 0076	花園動物病院 (新宿1-25-11-105)	(3352) 2115
ワトソン動物病院 (西早稲田1-11-8、ピア早稲田1階)	(3200) 1098	キタムラ動物病院 (早稲田鶴巻町556、マンション暁1階)	(3203) 1190
藤木獣医療科病院 (西早稲田2-21-6)	(3200) 1715	わせだ動物病院 (早稲田鶴巻町110)	(3207) 9511
黒田獣医療科病院 (中落合3-24-16)	(3954) 2733	トッキー動物病院 (北新宿1-36-3)	(5338) 6870

人と動物(ペット)が上手に付き合い、生活がより豊かになるよう、区はさまざまな取り組みを行っています。

今回は、「地域ねこ対策」や「住宅密集地における犬猫の適正飼養ガイドライン」を紹介します。

【問合せ】衛生課管理係(第2分庁舎3階) ☎(5273)3148へ。



飼い主は責任ある管理を

◎ペットの安全確保を

▶放し飼いにしない

犬の放し飼いは都の条例で禁止されています。また、猫は室内だけで暮らせる動物です。事故や病気のリスクを避けるためにも、猫は室内で飼いましょう。

▶迷子にしない

犬には必ず鑑札を、猫には飼い主の連絡先を書いた名札を付けましょう。また、散歩のときは必ずリードを付けましょう。

▶去勢・不妊手術の実施

発情によるストレスからペットを解放するため、手術をしてください。

▶毎日の健康管理

人間が食べる塩分や糖分が多い食べ物等は、ペットには有害です。ペットに異常があったら早めに動物病院を受診してください。

◎人と動物の共通感染症にご注意を

人と動物の間で感染する病気は、世界で約200種類が確認されています。次のことを守れば、ほとんどの感染症は予防できます。

▶口移しを避けて、同じ食器は使わない

▶口づけなど過剰に接触しない

▶ペットに触った後と飲食の前には手を洗う

▶排せつ物はすぐに片付け、処理後は手を洗う

▶衛生的な飼育環境を保つ

◎高齢のペットにも適切な世話を

獣医療の進歩や食生活の改善で、10年以上生きる犬や猫も多くなっています。視力・聴力・臭覚の低下や、介護が必要になる場合もあります。認知症など、気になる症状がある場合は、かかりつけの獣医師に相談して対処しましょう。